

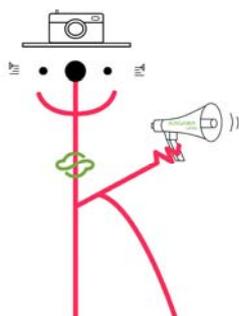
平成23年9月22日

香川大学博物館 第8回企画展 「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」

香川大学博物館では、10月20日（木）～10月24日（月）の5日間、第8回企画展として、「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」（共催：日本宇宙少年団香川小惑星分団、かがわ源内ネットワーク）を開催します。会期前日の10月19日（水）には、午後3時30分からオープニングセレモニーを開催し、引き続きメディア公開および関係者向け内覧会を実施します。

1. 名称 香川大学博物館 第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」
2. 会期 平成23年10月20日（木）～平成23年10月24日（月）
3. 開館時間 午前9時～午後7時（入場は午後6時30分まで）
4. 場所 香川大学博物館（高松市幸町1-1 香川大学幸町北キャンパス内）
5. 入場料 無料（混雑時には、整理券を発行することがあります。）
6. 展示品
 - （1）小惑星イトカワからのサンプル採取を成し遂げ、昨年6月に地球への帰還を果たした小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルの実物等（協力：宇宙航空研究開発機 JAXA）
 - （2）香川衛星開発プロジェクトで開発され2009年1月に打ち上げられた STARS（KUKAI）および現在開発中の STARS-II 等に関する展示（協力：香川衛星開発プロジェクト）
 - （3）地球最古の岩石、鉄隕石、アエンデ隕石、国分寺隕石他
 - （4）小惑星探査機「はやぶさ」実物大模型（協力：武豊はやぶさ実行委員会）
7. 特別講演会
 - 日時 平成23年10月22日（土）午後2時～午後4時30分（開場午後1時30分）
 - 会場 香川大学幸町北415教室（高松市幸町1-1 香川大学幸町北キャンパス内）
 - 定員等 定員300名（事前申し込み不要、先着順）、入場無料
 - 講師 吉川 真（よしかわ まこと）氏（JAXA・「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ）
 坂本尚義（ゆりもと ひさよし）氏（北海道大学大学院理学研究院・教授）

※ 講師の略歴および写真等の提供が可能です。



➤ 問い合わせ先

香川大学博物館

TEL/FAX : 087-832-1300

e-mail : museum@ao.kagawa-u.ac.jp

小惑星探査機

実物展示



香川大学博物館
第8回企画展

「はやぶさ」帰還カプセル展

2011/10/20(木) 21(金) 22(土) 23(日) 24(月)

時間 午前9時～午後7時
(最終入場 18:30)

会場 香川大学博物館
(香川大学幸町北キャンパス内)

入場
無料

混雑時には整理券を配布します。
20(木)・21(金)の午前中に、
学校団体見学による入場制限有。



展示室内撮影禁止

【展示品】

- インstrumentモジュール(実物)
- 搭載電子機器部(実物)
- パラシュート(実物)
- 背面ヒートシールド(実物)
- 前面ヒートシールド(レプリカ模型)
- 「はやぶさ」帰還カプセル カットモデル模型
- 「はやぶさ」探査機 1/8スケール模型

【同時展示】

- 超小型人工衛星(香川衛星開発プロジェクト)
- 地球最古の岩石、鉄隕石、アエンテ隕石、国分寺隕石
- 「はやぶさ」探査機実物大模型(武豊はやぶさ実行委員会)

※ 展示品は変更になる場合があります。

イラスト：池下章裕

特別講演会

日時 10/22(土) 14:00～16:30 (13:30開場)

会場 香川大学幸町北キャンパス 415教室

定員等 300名(事前申し込み不要・先着順)・入場無料

「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ

よしかわ まこと

吉川 真氏 (JAXA・「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ)

「イトカワ」から探る太陽系の起源

ゆりもと ひさよし

塚本 尚義氏 (北海道大学大学院理学研究院・教授)



関連行事

10/23(日) 9:00～ 未来からの留学生 - 教育学部フェスティバル in 香大 -

- 【主催】 香川大学博物館
- 【共催】 日本宇宙少年団香川小惑星分団、かがわ源内ネットワーク
- 【協力】 宇宙航空開発研究機構(JAXA)、香川衛星開発プロジェクト、武豊はやぶさ実行委員会
- 【後援】 香川県教育委員会、高松市教育委員会
- 【協賛】 STNet、香川サイエンス、桜製作所、太洋物産、ナルホド成豊堂、日進機械、美巧社、レアスウィート

駐車場はありませんので、会場へは公共交通機関等をご利用下さるか、香川県番町地下駐車場(約600m、高松高校地下)他をご利用下さい。

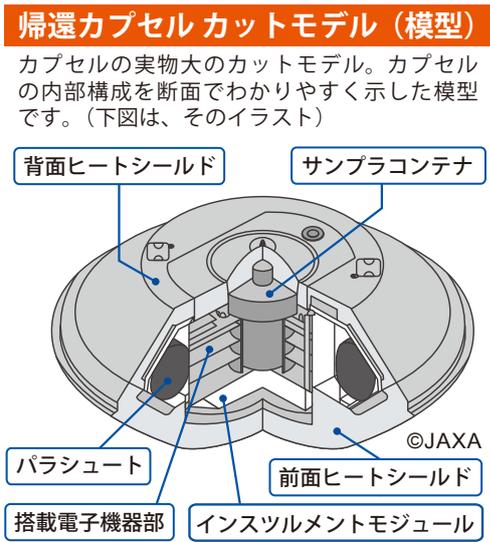
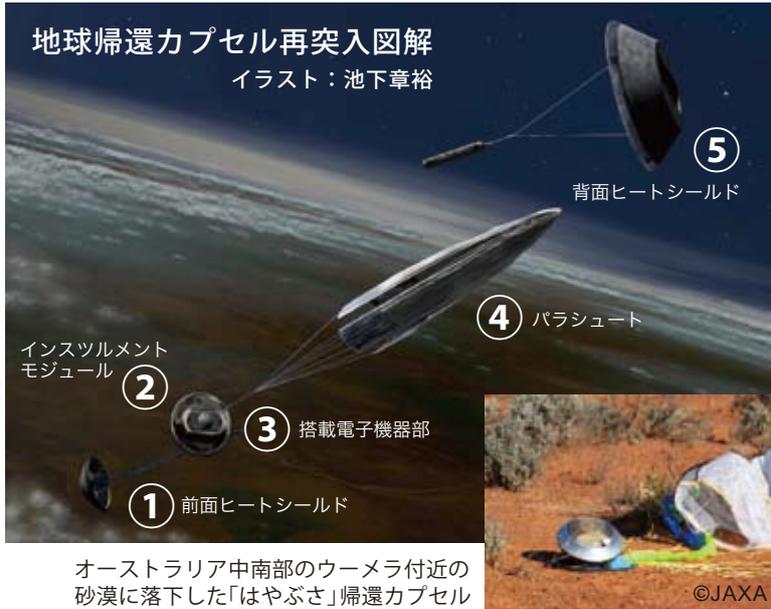
お問い合わせ

香川大学博物館

〒760-8521 高松市幸町 1-1
TEL/FAX: 087-832-1300
e-mail: museum@ao.kagawa-u.ac.jp
http://www.museum.kagawa-u.ac.jp

小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展

展示品



はやぶさ 1/8 模型

「はやぶさ」の本体は、約 1.0m×1.1m×1.6m、太陽電池パドルを開くと約 5.7m、打ち上げ時の質量は、約 510kg です。



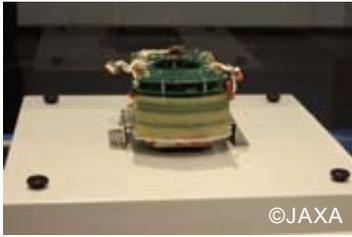
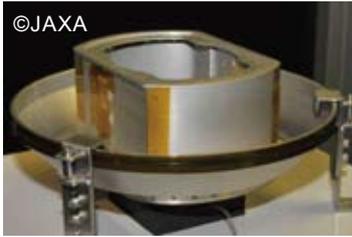
「はやぶさ」の軌跡

- 2003. 5. 9 内之浦宇宙空間観測所より M-V ロケット 5 号機で打ち上げ
- 5.27 イオンエンジン点火
- 2004. 5.19 地球スウィングバイでイトカワに向けて旅立つ
- 2005. 7.29 小惑星イトカワの撮影に成功
- 9.12 イトカワに到着 (約 20km 地点)
- 9.30 ホームポジション (約 7km 地点) に到着
- 11.12 ミネルバ分離
- 11.20 1 回目のタッチダウン・ターゲットマーカー放出
- 11.26 2 回目のタッチダウン
- 12. 8 燃料漏れで姿勢が安定せず、地球との通信ができなくなる
- 2006. 1.23 地上との通信が復活
- 2007. 1.18 試料容器のカプセル収納・蓋閉め運用完了
- 2 月 イオンエンジンの再点火
- 4.25 地球帰還に向けた本格巡航運転開始
- 10.18 第 1 期軌道変換完了・イオンエンジン停止
- 2008. 5 月 地球から最遠地点を通過
- 2009. 2. 4 第 2 期軌道変換開始・イオンエンジン再点火
- 11. 4 イオンエンジンに異常発生
- 11.19 2 台のイオンエンジンを組み合わせて推進力確保
- 2010. 3.27 第 2 期軌道変換完了・イオンエンジンの連続運転終了
- 4 月 再突入に向けた軌道修正開始
- 6.13 地球帰還
- 6.14 カプセル回収
- 7. 5 カプセル内のサンプラコンテナに微粒子を確認
- 11.16 カプセル内の微粒子がイトカワ由来のものであると判明



香川衛星開発プロジェクト

香川大学工学部の能見研究室を中心として、2005 年 1 月に開始したプロジェクトです。開発された STARS (KUKAI) は、2009 年 1 月に H2A ロケットで打ち上げられ、テザー宇宙ロボットの実証実験に成功しました。現在は、宇宙ゴミ除去の新技术を備えた STARS-II を 2013 年以降の打ち上げを目指して開発中です。



撮影禁止です!

お願い

- 7 年間の宇宙の旅に耐えた貴重な資料です。保全のため温湿度管理を行っています。
- 今後も宇宙開発などの分野の貴重な研究対象です。
- 展示室内では、携帯電話機を含む、写真や動画の一切の撮影はご遠慮ください。
- 展示室内では、係員の指示に従い、混雑時は立ち止まらずにゆっくりお進みください。
- 展示ケースの前はロープで仕切られています。ロープの中に入らないでください。
- 小さなお子様からは、展示室内外ともに、絶対に目を離さないでください。